



2015. 4月発行 No.76

東北森林管理局 藤里森林生態系保全センター
〒018-3201

秋田県山本郡藤里町藤琴字大関添24-3

Tel 0185-79-1003 Fax 0185-79-1005

eメールアドレス t-fujisato@rinya.maff.go.jp

平成27年度のスタートを迎え

今年の冬は昨年12月から雪が降りつもり、例年より長く感じられたかと思えます。藤里駒ヶ岳は未だ残雪を残していますが、里山の木々は芽吹き、待ち望んだ春が来たことを実感できます。白神山地のブナも、まもなく新緑で鮮やかに彩られることでしょう。

当センターでは、今年度も引き続き、白神山地世界遺産地域及びその周辺地域を巡視活動などにより、保全管理に取り組んでいきます。巡視活動にあたっては、地域の巡視員の皆様や関係機関と連携して取り組み、白神山地についての普及啓発を行い、マナーの遵守などを呼びかけていきます。

昨年秋、災害で通行不能だった林道が復旧し、岳岱自然観察教育林へのアクセスが容易になりました。以前のように、白神山地の魅力に惹かれ、多くの来客が見込まれます。このため、来訪者の安全確保、快適な散策ができるように、休憩所や歩道の整備・点検等を定期的に行います。なお、遊歩道の一部はウッドチップを敷き詰めたバリアフリーとなっており、高齢者の方でも歩きやすくなっています。

また、当センターでは、白神山地の魅力を多くの人々に知ってもらうために、森林環境教育「白神森林講座」を予定しています。登山技術を学びながら、白神山地のブナ林が織りなす森や沢、動植物など豊かな自然を体感してもらいたいと考えております。このほか、ブナの植樹と自然観察会も計画しています。このよ



残雪の藤里駒ヶ岳(4月22日)

うな取組を通じて、世界自然遺産・白神山地の魅力を多くの方々にPRし、長期的なリピーターになってもらうことを期待しています。

近年、白神山地世界遺産地域周辺でニホンジカが目撃情報が相次いでいることから、昨年度から各所にセンサーカメラを設置し、モニタリングを開始しました。

ニホンジカは群れで行動するので、仮に大発生すると白神山地の豊かな森林生態系に大きな影響を及ぼす可能性があります。今後も、生息状況には十分注意していく必要があります。地域全体でも是非、関心をもって頂ければと願います。

当センターの活動が世界自然遺産・白神山地の保全管理に少しでもお役に立てるよう、職員一同力を合わせて取り組んで参りますので、皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

藤里森林生態系保全センター 所長
田中 直哉

1. 平成27年度 森林ふれあい推進事業計画

● 藤里森林生態系保全センターの「平成27年度森林ふれあい推進事業計画」を下記のとおり予定していますので、お知らせいたします。

白神森林講座

実施日・場所

	平成27年	平成28年
①新緑のブナ林、白神山地の自然の豊かさの探求	6月13日(土) ・二ツ森	
②深緑の藤里駒ヶ岳での自然観察会	7月11日(土) ・藤里駒ヶ岳	
③白神山地の水の恵みを体験	9月12日(土) ・一ノ又沢	
④黄葉のブナ林、白神山地の自然の豊かさを探求	10月10日(土) ・二ツ森	
⑤白神山地周辺で冬の動植物を発見		3月 5日(土) ・素波里周辺



森林講座の様子

◎募集

- ・対象者 : 一般
- ・人数 : 各回20名ずつ
- ・参加費 : 3,000円

※締め切り

開催日の1~2週間前予定

※現在、実施団体を公募しています。

自然再生活動

実施日・場所

平成27年
○ブナの植樹と自然観察会 10月24日(土) ・岳岱自然観察教育林

※ 現時点での予定ですので、日時等が変更する可能性があります。

◎募集

- ・対象者 : 一般
- ・人数 : 20名
- ・保険料 : 100円

2. ニホンジカのモニタリング

白神山地世界遺産地域周辺で森林生態系に大きな影響を及ぼす可能性があるニホンジカを目撃情報が相次いだことを受け、平成26年度からニホンジカの生息状況を把握するため、センサーカメラを設置しモニタリングを行いました。

得られたデータは、白神山地世界遺産地域科学委員会に提供するなど、今後のニホンジカ対策に役立てています。

(参考) 昨年度のニホンジカ目撃情報 東北森林管理局HP
http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/press/kanri/270422_h26sika.html



設置されたセンサーカメラ

★詳しいことをご存知になりたい方は、藤里森林生態系保全センターへお問い合わせください。